

2021年度名古屋芸術大学入学試験問題
総合型選抜「AO入学試験3期」

入試問題様式

試験科目：「小論文」

日程：2020年3月24日（水）

試験時間：50分 / 解答字数：800字程度

芸術学部芸術学科音楽領域

対象コース：ウインドアカデミー、ワールドミュージック・カルチャー、サウンドメディア・
コンポジション、ミュージックエンターテインメント・ディレクション、音楽総合
コース

課題

人間の成長に音楽がどのように貢献できるか、自身の体験を含めて述べなさい。

〔出題の意図等〕

それぞれのコースで様々な種類の「音楽」がありますが、これから4年間大学で、それぞれの「音楽」に向き合う姿勢を再度考えるきっかけとなるようにと考えました。

【課題】

人間の成長に音楽がどのように貢献できるか、自身の体験を含めて述べなさい。

【解答例】

昨今の学校教育では、5教科の他にプログラミング教育への注目が高まっている。これは現代の子供が大人になった時、日々進化するIT社会に対応するために必要となる知識や経験で、時代の流れに沿ったものと理解できる。つまりプログラミング教育は人間の成長に貢献し得る教育といえる。一方で5教科以外の音楽教育は、プログラミング教育と同様に社会へ出た時、必要となる知識や経験といえるのだろうか。音楽は人間の成長に貢献できるのだろうか。

音楽教育つまり音楽の授業がなくなれば、授業時間に余裕が生まれ他の強化へ時間を充てることができる。学力の向上が見込まれ、将来の受験へ有利になるという考えもできる。しかし、音楽、美術や体育の授業がなくなれば、生徒の個性、向上心やコミュニケーション能力を成長させる機会を失うことになる。これは人間の成長という面で損失と言える。

自身の経験を例に挙げ述べたい。小学生の頃学級委員をしていた私は、クラスに馴染めない転校生に何か良いきっかけはないかと悩んでいた。ある時音楽の授業で合奏をすることになり、クラス全体で同じ一つの楽曲と向き合う機会があった。練習の過程でクラス全員が共有できる物ができたお陰で、自然と個々のコミュニケーションが増え、気がかりだった転校生も輪の中に入ることができた。クラス全体で同じ目標へ向かい、自然と向上心が芽生え、それによって生まれた個々の情報交換によりコミュニケーション能力の上達を促した。これは社会へ出た時に大いに役立つ知識、経験であり、音楽は人間の成長に貢献したと言える。

社会人として必要な知識や経験は、いわゆる5教科とプログラミング教育のみではない。それ以外の互いの個性の尊重、向上心やコミュニケーション能力といった内面の成長も重要である。よって人間の成長に音楽は貢献できると私は考察する。